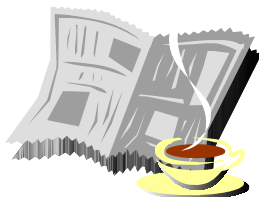


★新聞社説を読み、家庭学習の取り組み方について考えよう

◇家庭学習の取り組み方について話題になってきた岩瀬さんの学級では、それについて書かれた新聞の社説を読み、考えてみることにしました。

社説A (岩手新聞 二〇〇九年二月二〇日)



社説

ながら勉強はやる気の問題か？

し、これは子どもの責任、やる気の問題であろうか。

「あなたの家では、どこにテレビがありますか」の問いによると、半数以上の家庭で「子どもが自由に見られるテレビがある」ようだ。そのような環境で、テレビに気を取られず勉強しろというのは酷ではないか。

「環境が人間を育てる」という言葉もある。子どもが自然と集中できるような場所を作るため、家庭での学習環境を見直してみたいかがだろうか。

岩手県家庭学習調査

習の実態が明らかになった。

家庭学習の充実のためには、やる気か環境か。先日、岩手県総合教育センターから「平成二十一年度岩手県小・中学生における家庭学習に関する調査」の結果が発表され、子ども達の家庭学習の実態が明らかになった。

社説B (陸奥日報 二〇〇九年二月二十一日)

それで学力は身につくのだろうか。子ども達は家庭学習を行ってはいいるが、集中できていない。県総合教育センターの行った小・中学生の家

57・4%にもものぼる。半数以上がテレビを見ながらの「ながら勉強」を行っていることになる。「ながら勉強」は効果が薄いことは昔からいわれているが、現

らせないようにした「子どもの部屋にはテレビを置かないようにした」等、各家庭で対策を取っているのがわかる。しかし、実際にはうまくいっていないようである。

岩手県家庭学習調査

勉強の目的の再確認を

庭学習に関する調査で、こんな結果が出た。

今回の調査で「テレビを見

ながら勉強をすることがある」と答えた中学三年生は

在でも県内のこれだけの中学生が続けていることは問題だらう。

保護者へのアンケートから「テレビを見ながら家庭学習をや

この結果から、子ども達の心の中には「とにかくやればいんだらう」という、作業的な気持ちがあることが感じられる。何のために、誰のために勉強をするのかを、学校や家庭でもう一度話し合う必要があるのかもしれない。

社説

問一 社説B のほる はここではどういう意味を表していますか。適切なものをア～エから一つ選びなさい。

【語句の使い方など書き手の工夫に注意して読む】

- ア ながら勉強をしている割合がとても多いということ。
- イ ながら勉強をしている割合が予想通りだということ。
- ウ ながら勉強をしている割合が見ての通りだということ。
- エ ながら勉強をしている割合がそれほど多くないということ。

問二 二つの社説の展開と主張を整理するとどのようなようになるでしょうか。それぞれ次のア～カから三つを選び、適切に並び替えて論理の展開を整理しなさい。(同じ選択肢が使われることがあります)

【文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解する】

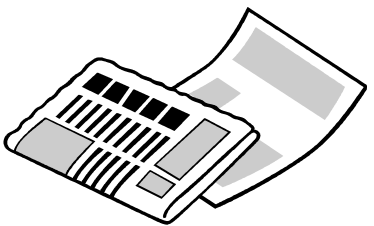
- ア 勉強することの意味を見つめ直す必要がある
- イ この問題への家庭での対策はとられていない
- ウ テレビを見ながら勉強しているという実態がある
- エ この問題へ家庭での対策は不十分である
- オ 家庭での学習環境を整える必要がある
- カ やる気をもって勉強できていない実態がある

	社説A	社説B
論理の展開	論理の展開	論理の展開
	↓	↓
主張	主張	

問三 岩瀬さんは社説Bの論理の展開には不十分な点があると感じ、そのことについて次のようにまとめました。a b c にあてはまる言葉を、それぞれ指定された字数で社説Bから抜き出しなさい。

【構成や展開の特徴や効果をまとめ、評価する】

社説Bにおいて a(十二字) とあるが、数値が示されていない。そのため、実際にどのくらい b(二字) でそのような c(二字) が取られているのか不明である。



		a

c	b	-----

問四 岩瀬さんは二つの社説を読み比べたところ、両者に共通する表現の工夫に気付きました。その共通する表現の工夫として適切なものを、ア～エから一つ選びなさい。

【表現の仕方の特徴や効果をまとめ、評価する】

- ア どちらでもエピソードを交えることで、読み手が具体的に理解しやすくしている
- イ どちらでも調査の経緯を詳細に記すことで、主張の根拠を明確にしている
- ウ どちらでも最初に疑問を投げかけ、読み手が問題意識を持てるようにしている
- エ どちらも話し言葉を使うことで、読み手が親しみを感じられるようにしている



◇二つの社説を読み、家庭学習の取り組み方について学級のみんがそれぞれ意見を持ち、発表しあいました。

問五 ねらいに沿った意見として適当なものを、次のア～エから全て選びなさい。

【情報を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもつ】

- ア テレビを見ながら勉強することは私も時々あります。そのことについてAの社説は家庭の環境も問題にしていますが、それは各自の意志で乗り越えるべきものだと思います。勉強する目的を意識し、自分に負けずに集中して勉強すべきです。
- イ 私は部活が忙しくてなかなか勉強時間を取ることができませんでした。家に帰ると疲れ切っていて、勉強する気がなくなっています。Bの社説の言うように、これから家庭学習をどのように行っていくかを家族で話し合ってみたいと思います。
- ウ テレビを見ながら勉強することが悪いことだと、私は思いません。確かに集中して勉強し方がよいと思いますが、見たい番組を我慢しては、テレビを消しても集中できないと思います。それよりは見ながらやった方が効果はあると思います。
- エ 私は家ではテレビをあまり見ないので、勉強の時にテレビが気になることはありません。しかし、興味のある人にとってはテレビはとも気になるものだと思うので、Aの社説のようにテレビを置く場所、勉強する場所を工夫するのはいいことだと思います。



【読む6 新聞社説を読み、家庭学習の取り組み方について考えよう】

- 問一 ア
問二 社説A ウ↓イ、オ
社説B ウ↓エ、ア
問三 A…各家庭で対策を取っている
B…家庭 C…対策
問四 ウ 問五 ア、ウ、エ

解説 問一 「のぼる」の意味の中には「数量が相当の程度に達する」という意味があります。この問題の場合は「テレビを見ながら勉強することがある子どもの割合」が相当の程度に達するくらい多いことを筆者が示そうとしたと考えられます。

問二 どちらの社説も「テレビを見ながら勉強している子どもが多い」ことを取り上げながらも、社説Aが「家庭でのテレビの置き場所を視点として家庭での学習環境改善」を訴えているのに対し、社説Bは「家庭での対策は取られている」という立場から勉強への目的意識の確認」を訴えています。

問三 社説Bのアンケートからは、保護者の取っている対策が具体的にわかりますが、どれだけの家庭でそれが行われているのかは数値のデータがないのでわかりません。

問四 どちらも文章の最初に問題を投げかけています。(ア)はエピソード、(イ)は調査の経緯、(エ)は話し言葉という部分であてはまりません。

問五 部活動を話題にしている(イ)はねらいからずれています。(ア)(ウ)(エ)はそれぞれ異なる意見を持っています。ねらいからずれていません。ねらいに沿っていれば、読み取ったことから様々な意見を持つことができます。